

狂

言

を

楽

し

も

ら



■日時 2019年1月19日(土)
14:00開演(13:30開場)

■会場 川崎能楽堂
(JR川崎駅東口徒歩5分)

■料金 3,000円(全席指定)

■狂言のお話
野村万蔵

■狂言 かみなり
「雷」能村晶人

■狂言 いるまかわ
「入間川」野村万蔵

■チケット発売
2018年
12月12日(水) 先着順
AM9:00より
川崎能楽堂窓口にて販売

(残券がある場合は、同日正午より電話・川崎市文化財団ホームページでも販売いたします)

■チケット取扱・お問合せ
川崎能楽堂(9:00~17:00)
※発売初日の電話受付は正午から。
川崎市川崎区日進町1-37
TEL:044-222-7995
FAX:044-222-1995

野村万蔵による芸能サロン

■主催 公益財団法人川崎市文化財団 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL044-272-7366

※開演後はお入りいただけません。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

野村万蔵による芸能サロン

狂言を楽しもう

「雷」
かみなり

都のやぶ医者者が田舎で開業しようとして旅している、突然雷鳴がとどろき、目の前に雷が落ちてきます。雷は腰を打って苦しみ、医者に針治療をさせます。雷は痛がって騒ぎますが、治療の甲斐あって治ります。帰ろうとする雷に医者が治療費を請求すると……。

「入間川」
いるまがわ

東国の大名は都での訴訟が済み、太郎冠者を連れて帰国する途中で大きな川に行き当ります。通りかかった男(入間の何某)に川の名と渡り瀬(歩いて渡れる浅瀬)を問うと、男は「この川は入間川で、ここは川底が深く浅瀬はもっと上流にある」と答えます。すると大名はこの地方に流行る入間様(逆言葉)で答えたものと思ひ、川を渡り始めて……。

狂言のお話

狂言「雷」
かみなり

やぶ医者

能村 晶人

地謡

野村万之丞
河野 佑紀
上杉 啓太

休憩

狂言「入間川」
いるまがわ

大名

野村 万蔵

太郎冠者
入間の何某

野村拳之介
小笠原 匡

出演者略歴



野村 万蔵 【のむら まんぞう】

1965年生まれ。野村萬(人間国宝)の次男。父に師事。2005年、本家の名跡九世野村万蔵を襲名する。一門の組織萬狂言を主宰。古典以外にも復曲新作や現代劇の演出を手掛け、近年では狂言とコントを融合させた「現代狂言」の創作・演出や、歴史の史実に基づく新作狂言の創作、また流派を越えた若手研鑽と交流を目的とした「立合狂言会」に取り組むなど、次代の能楽界発展にも尽力する。ASIAGRAPH2017匠賞受賞。東京藝術大学・桜美林大学非常勤講師。重要無形文化財総合指定。



小笠原 匡 【おがさわら ただし】

1965年生まれ。野村萬及び故八世万蔵、九世万蔵に師事。国立能楽堂三役研修生を修了。萬狂言関西支部代表。海外での活動も多く、新作狂言の劇作や演出も積極的にこなす。2007年より毎年、千葉大学「伝統文化をつくる」授業にて学生や地域と連携し創作狂言を制作している。放送大学京都学習センター客員教授。千葉大学客員教授。重要無形文化財総合指定。



能村 晶人 【のむら あきひと】

1972年生まれ。能村祐丞の長男。野村萬及び故八世万蔵、九世万蔵に師事。既に数多くの秘曲・大曲を抜く。海外公演にも多数参加。桜美林大学・尚美学園大学非常勤講師。重要無形文化財総合指定。



野村 万之丞 【のむら まんのじょう】

1996年生まれ。九世万蔵の長男。祖父の萬及び父に師事。2017年、六世野村万之丞を襲名。2000年「靱猿」にて初舞台。2002年「伊呂波」の初シテ、以後子方の役を多く勤める。2015年「奈須与市語」、2017年「三番叟」を抜く。能楽協会会員。



野村 拳之介 【のむら けんのすけ】

1999年生まれ。九世万蔵の次男。祖父の萬及び父に師事。2003年「靱猿」にて初舞台。2004年「井呂波」の初シテ、以後「しびり」「重喜」「魚説法」「井杭」「二人袴」のシテを勤める。2016年「千歳」、2017年「奈須与市語」を抜く。



河野 佑紀 【かわの ゆうき】

1990年生まれ。九世万蔵に師事。2016年「奈須与市語」を抜く。東京を中心に多くの舞台を勤めるほか、小中高生向けのワークショップや鑑賞教室を積極的に行う。能楽協会会員。



上杉 啓太 【うえすぎ けいた】

1993年生まれ。野村萬及び九世野村万蔵に師事。第9期国立能楽堂研修生。修行を重ねながら東京を中心に舞台を勤める。能楽協会会員。

次回公演のお知らせ
2019年3月16日(土)
第二六回川崎市定期能「観世流」
会場：川崎能楽堂
第1部：能 観世 観世 恭秀
第2部：能 胡蝶 田邊 哲久
2019年5月3日(金祝) 14時開演
人間国宝の競演
友枝昭世と山本東次郎の至芸
狂言「月見座頭」山本東次郎
能「葵」上 友枝 昭世
解説 馬場あき子

橋掛り

E	D	C	B	A
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
E	D	C	B	A

正面席

A	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
B	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
C	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
D	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
E	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

川崎能楽堂座席表(148席)

JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂案内図